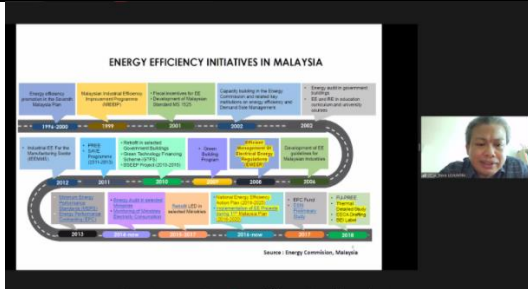


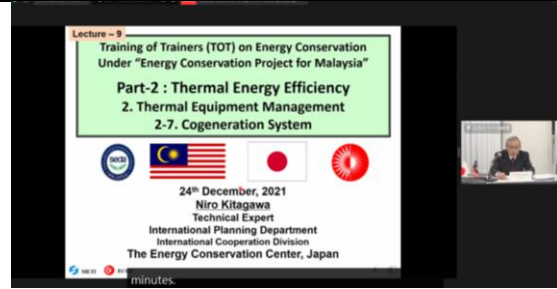
マレーシアに対する第8回省エネ研修（BECMY8 Part 2）（オンライン）を開催しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）では、資源エネルギー庁の委託を受けて令和3年度もマレーシアとの二国間省エネ協力事業を実施しています。今回は2021年12月3、10、17、24日の4日間にかけて、政府関連機関、産業・協会、大学関係者等36名を対象とした熱技術研修（BECMY8 Part 2）を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により現地への派遣や日本での研修受入の実施が困難な状況であることから、11月の省エネ実技研修（BECMY8 Part 1）に引き続き、オンライン形式で実施しました。



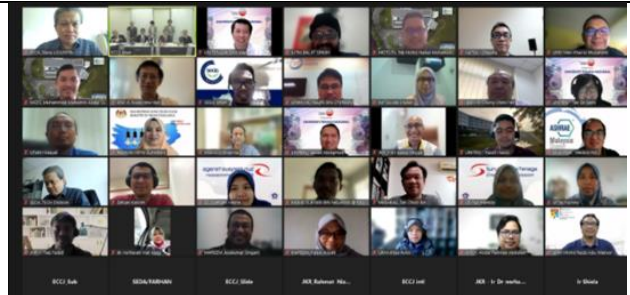
カントリーレポート報告



コジェネ熱講義



MENR Shukor次官の閉講挨拶



参加者集合写真

1. 研修参加者：

馬側：【研修対象者】持続可能エネルギー開発機構（SEDA）1名、エネルギー委員会（EC）2名、他政府関係機関 12名、産業・協会 8名、大学関係者 13名、計36名。

【その他】エネルギー天然資源省（MENR）2名、SEDA 2名

日本側：METI資源エネルギー庁；1名、ECCJ 国際協力本部；9名

2. 研修概要：

- (1) 目的：マレーシアで新たに制定予定の省エネ法の下で検討されている、「Type 2 エネルギー管理士制度」を担う熱技術・設備分野の研修講師等を中心とした人材育成支援のため、令和3年度第2回目の研修を実施しました。
- (2) 研修期間：2021年12月3日、10日、17日、24日
- (3) 講義項目：以下の内容に関し、ECCJの講師による講義を実施しました。
 - ① エネルギー管理：日本の省エネ政策とエネルギー管理システム
 - ② 熱理論：熱エネルギーの基礎知識
 - ③ 熱設備管理：ボイラ、蒸気システム、工業炉、廃熱回収、コジェネ、空調、空気圧縮機
 - ④ 熱設備の省エネ診断：診断手法・報告書作成、ボイラ、蒸気システムの診断方法と事例
- (4) カントリーレポート：SEDA DirectorのMr. Lojuntinより、マレーシアの新たな省エネ法の構成等が報告されました。
- (5) 開会・閉会挨拶：MENR Shukor次官、Chung首席秘書官、資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー一部政策課国際室 木村課長補佐、及びECCJ 村上常務からの挨拶では、いずれも脱炭素を視野に入れた省エネ推進の重要性が強調されました。

以上